

がん診療の地域連携

質問

母が肺がんになり、大きな病院で治療を受けることになってい
ます。担当医から「治療を開始する上で自宅から近いかかりつけ医をつ
くってほしい」と勧められました。これまであまり病院を受診したことはなく、
決まったかかりつけ医はいません。今の病院だけでずっと診てもらえませんか。



鳥羽 博明
徳島大学病院
呼吸器外科助教

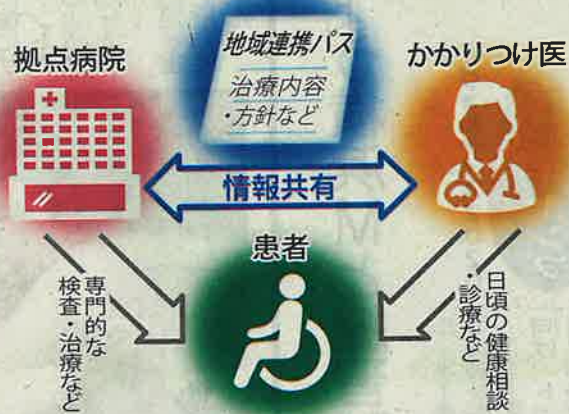
回答

もちろん 治療を受け
る大きな病院で主に診て
もらうことになります。
一方、近くにかかりつけ
医がいて、自分の病状を
知っておいてもらうのは
非常にメリットが大きい
です。がん治療はつらい
症状が出ることもありま
す。また、不安になるこ
ともあります。そんな時
にかかりつけ医がいる
と、治療を受けている病
院の担当医と一緒に考
え、症状や不安に対処し
てくれます。自宅から近
い所にかかりつけ医がい
ると便利。大きな病院と
違い待ち時間が短いで
す。つらい症状が出た場
合は、遠方で待ち時間が
長いと、大きな苦痛にな
ります。治療を受けてい
る病院の医師とかがりつ
け医の主治医2人が一緒
に診てくれるメリットは
非常に大きいのです。

主治医2人利点大きく



主治医2人制によるが
ん診療の地域連携は国も
推進しています。200
7年に策定されたがん対
策基本法に始まります。
第1期がん対策推進基
本計画は、11年10月まで
に5大がん(胃がん、大
腸がん、肺がん、乳が
ん、肝がん)の地域連携
クリティカルパス(治療



そこで徳島では県内を
てきました。
しかしながら国は18年
の第3期計画でも不十分
であり、より踏み込んで
役割分担し、地域で切れ
目のない医療・ケアを提
供する連携体制を作っ
ていくよう提言していま
す。

計画書)を整備し、早期
からかかりつけ医と連携
して治療に当たることが
求めました。
徳島大学病院でも術後
連携バスを作製。かかり
つけ医と共に手術後5年
間経過観察していくシス
テムを作り、連携を進め
てきました。

中心に550の病院・診
療所に大規模なアンケ
ー調査しました。①がん
患者の受け入れの可否②
分担可能な診療内容につ
いて問う内容で、289
施設(53%)から回答が
ありました。がんの種類
によって異なるものの、
およそ120~160施
設(肺がんは157施
設)のかかりつけ医がが
ん患者の受け入れ可能と
の回答でした。内服の抗
がん剤に加え、注射薬の
投与やCT撮影などさま
ざまな診療内容を分担し
てもらえることが分か
りました。

アンケート内容は徳島
大学病院のホームページ
から見ることができま
す。徳島大学病院↓がん
診療連携センター↓徳島
大学病院がん連携病院検
査にアクセスしてくださ
い。
主治医2人制によるが
ん診療の地域連携は徳島
県でも整いつつありま
す。より安心してがん治
療を受けるためにも、せ
ひかかりつけ医を持つこ
とを勧めます。

役割分担切れ目ないケア

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
(平日午前8時半から
午後5時まで)へ。

